市民税軽減したい

市制二十周年で市民図書館も

――市長答弁

十二月市議会の冒頭、市長は財政、空港、同和などの諸問題について所信を述べました。

『財政再建は徐々に健全化の方向にむかっていますが、実質的な赤字もかなりあり、楽観を許さない状態です。

空港では、地権者の動きが大きく変わりつつあるのは事実で、市民の利益を守る立場であらねばならないと思っています。

同和問題では、特別措置法が三年間延長となり、積み残し分や懸案事項をいかにやるかが課題です。

教育関係では、小中学校の校舎や体育館などの施設の整備を財政の許す限りやりたいと思います。

保育所は新築に着手、南部離岸堤、稲生下田川の高潮対策、国分川の改修など、今後も努力したいと思います。』と述べました。

一般質問

一般質問は、十五日と十八日の両日で、一般質問通告議員は従来より少なく、高島、今井、岡林、沢村、島崎、竹内、吉村、堀川、小沢の各議員九人が立ち、空港、財政、市制二十周年行事などについて執行部の考えをただしました。

まず、空港問題について――

問い・航空機騒音対策で、小・中学校や保育所、高校、大学、病院などに測定器を設置してはどうでしょうか。全部に設置できない場合は重点地域には設置してもらいたい。

答え・専門家に聞き、測定器を一台購入しましたが、全部に設置する必要はないのではないでしょうか。今後設置するなら、市内中学校四校を基準にやりたい。

問い・空港周辺整備事業を特別会計でやってはどうでしょうか。一般会計に組み込むと、予算が増え、市がその分得をしているように思われるのではないでしょうか。

答え・検討して、適切ということになれば五十四年度に実施したいと思います。

次に、財政問題では――

問い・財政再建に伴い増税を実施しましたが、そろそろ市民税あるいは固定資産税のどちらかでも引き下げてはどうでしょうか。開発公社の再建もひかえており、むりのない程度でやってみては…。

答え・まだまだ財政が健全状態ではないが、市民にあまり無理も言えないので、市民税を軽減する方針を固めています。固定資産税も若干の税率を下げたいが、もう少し検討をしていきたいと考えます。

市制二十周年記年行事では――

問い・十月一日で市制二十周年を迎えますが、何か記念の行事を計画していますか。

答え・式典はある程度にぎやかなものにしたいと考えています。後世に残すものとして、市史の編さんを。また図書館建設委員会を作り、市民図書館といったものを「発足」させてみてはどうかと考えています。

12月市議会定例会

第139回市議会定例会は、12月12日から22日までの11日間の日程で開かれ、一般会計補正予算など15件を原案どおり可決し、52年度一般会計歳入歳出決算認定など4件を継続審議としました。

また、各常任委員会、議会運営委員会の委員の改選も行われました。

主な可決議案

◆市立空港周辺共同利用施設の設置及び管理に関する条例

田村東部文化センターの管理については、地元の要望もあり、市の管理とするもの。当センターの管理・運営に関しては、地元に委託するもの。

◆市立児童遊園地の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

廿枝にある第五児童遊園地の施設整備等の工事が完了したので、市立にするもの。

◆廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

し尿汲取料の五十一年度より据え置き分を値上げするもの。し尿従量割汲取料五十四㍑までを二百七十円に、それを超える十八㍑については九十円に。

◆国民健康保険特別会計補正予算（事業勘定）

医療費改訂により、高額医療費二千万円、医療費五百万円。五十二年度国庫支出金精算に基づく返納金の計上で一千九百万円。

◆水道事業会計補正予算

収益的収入一千五百万円、支出一千三百万円の補正。主なものは原水、配水費の維持修繕費など。

初の女性委員長

議会開会の十二日には、各常任委員会の委員と議会運営委員会の委員の改選があり、新しいメンバーが次のとおり決まりました。

（○委員長、△副委員長）

総務＝○吉村雅男、△有沢実、竹内淳輔、徳橋一郎、堀川和夫、浜田一雄、浜田健夫、橋本一三三

建設＝○今井成子、△岡崎俊一、西山道雄、西川誠男、大谷巌、岩原栄喜、松木二郎、野口幸重

産業経済＝○土居菊雄、△高島邦明、岡林保、島崎秋水、門田益治、島内正雄、松岡幸寿

教育民生＝○橋本直治、△中村寅八、小沢正澄、平田良広、竹田広実、橋田信夫、沢村武一

議会運営＝○浜田健夫、△竹内淳輔、西川誠男、門田益治、小沢正澄、平田良広、松岡幸寿、松木二郎

この改選で、初めて女性の委員長が誕生し、副委員長も一年生議員と若返ったのが目立ちました。

観光行政では――

問い・熊野神社の桜の参道は、老人クラブや地元の人々のお世話で立派なものになりましたが、市ももっと力を入れてほしい。春までには便所の設置をしてほしい。

答え・由緒ある神社が心美しい住民の協力でできたことでもあり、その意向にそいたいと思います。

南国バイパス北側の県住宅供給公社の土地をグランドにする問題では――

一般会計補正予算は、総額四億七千四百万円を追加して、累計で七十七億六千二百万円となりました。

歳入は、市税三千七百万円、地方交付税七千万円、諸収入二千三百万円、市債二千百万円など。

歳出で、主なものをあげると、**民生費**では、後免保育所用地を開発公社より取得するために八千百万円と東部児童センター建設費（建築単価引上げ等による経費）一千五百万円を計上。

農業費では、水田利用再編推進特別交付金六千六百万円、空港周辺整備の県単土地改良事業一千三百万円、山田堀井筋土地改良区負担金一千三百万円、久枝海岸沖の初の漁礁設置事業に六百万円など。

義務教育施設整備関係では、大篠小学校改築のための用地取得に九千三百万円（開発公社より取得）、三和小学校プール建設費（全額寄附金）二百万円。

問い・ソフトボールができる程度のものに整備してほしい。

答え・グドラック前の運動場は農地転用手続で遅れていますが、予算化もすんでおり五十四年度には使用できそうです。

保育所や小学校の建設では――

問い・保育所の二階建ては危険で保母の労働も大変なものです。また、小学校の四階建ては管理や教育上の問題もあり、できれば避けてもらいたいと思います。

久枝海岸沖に初の漁礁設置

補正総額　四億七千四百万円

答え・保育所の設計は現場の保母の生の声を聞いてやっているし、今後もそうしたいと思います。小学校の四階建ては基本的には反対ですが、用地問題もありやむをえないと思います。四階には普通教室はおかず、特別教室をと考えています。

地場産業（農機具メーカー）の不況については――

問い・農機具メーカーの不況で売り上げも半減しており、法人市民税も約六〇％落ち込んでいるということですが、今後国県にどのような働きかけをしていくつもりですか。

答え・企業の内容に深く立ち入ることはできないが、救済問題について、近日知事に会い、金融機関と三者で話し合いたいと思っています。市の力のおよぶ範囲内で努力していく考えです。

集落整備事業としては、農道等の整備十四件に一千二百万円、部落公民館四館の改築費一千二百万円。

また、**減額分**については、中央地区衛生事務組合の解散による負担金不用額五百万円、公債費二千万円。

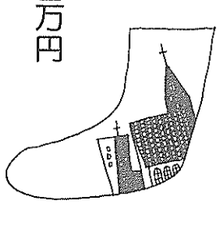
阿佐線などで意見書提出

最終日の二十二日は、議員提出の五意見書を審議し、これを可決しました。

『陸上公共輸送整備特別会計の創設推進に関する意見書』（提出者・今井成子）

『為替差益の還元に関する意見書』（提出者・竹内淳輔）

『児童手当引上げに関する意見書』（提出者・岡林保）

『国民健康保険制度に関する意見書』（提出者・橋本直治）

『老人の医療費無料化を継続、発展させるための意見書』（提出者・浜田健夫――四国の循環鉄道である阿佐線は、県東部の後進地域開発と福祉向上につながる重要な路線であり、早期開通は住民の悲願である。阿佐線の早期開通と陸上公共輸送の整備を推進するよう要望する。